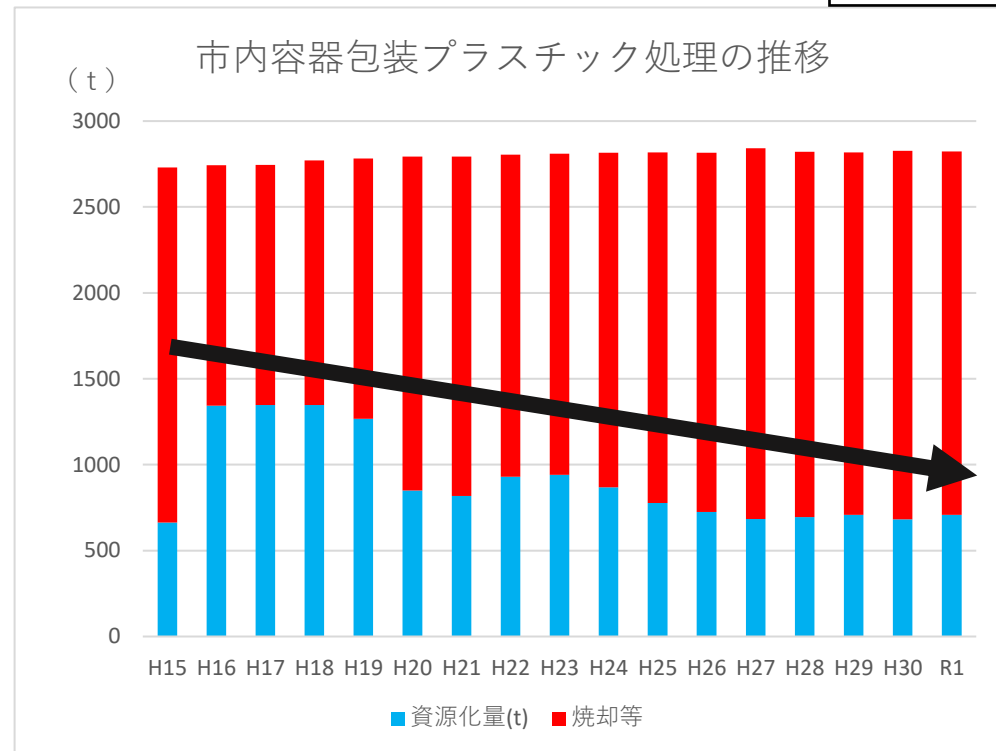


市内容器包装プラスチック処理の推移

資料2

	人口	搬入量(t)	資源化量(t)	賦存量
H15	109,175	2,631.6	664.2	2,729
H16	109,688	2,671.9	1,344.4	2,742
H17	109,779	2,748.8	1,346.8	2,744
H18	110,860	2,766.1	1,346.9	2,772
H19	111,310	2,695.0	1,267.7	2,783
H20	111,710	2,567.8	849.3	2,793
H21	111,751	1,797.7	817.8	2,794
H22	112,156	1,662.1	930.1	2,804
H23	112,400	1,576.8	941.1	2,810
H24	112,632	1,438.5	868.0	2,816
H25	112,691	1,357.9	777.4	2,817
H26	112,622	1,242.5	724.0	2,816
H27	113,679	1,181.0	683.3	2,842
H28	112,843	1,080.2	695.8	2,821
H29	112,688	1,066.0	708.4	2,817
H30	113,073	930.0	682.6	2,827
R1	112,928	947.3	707.4	2,823



※全ての容器包装プラを資源回収していたH15~H20年度のデータから、市民が1年間に排出する容器包装プラは25kgと推測する。

この数値を基に市内の容器包装プラ賦存量を算出している。

近年、回収された容器包装プラの25%程度が不適物として焼却等されている。

圏域内人口と容器包装プラスチック資源化量の将来予測

	圏域人口	圏域内資源化量 (t)	
		現状予測	減量予測
R1	156,157	811	811
R12	155,639	783	587
R30	145,881	758	568
R40	138,597	698	524

※国が示すワンウェイプラスチック削減目標「2030年（令和12年）までに25%削減」を基に、今後、現状から25%の容器プラが削減されるものとしている。ただし、令和11年度においては、目標年度に達していないことから20%の削減とした。

また、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行すれば、20年以上先には現代のプラスチック製品の大半が紙製やバイオプラスチックに転換されていることが予想され、現状の容器包装プラもリサイクル可能な紙製や

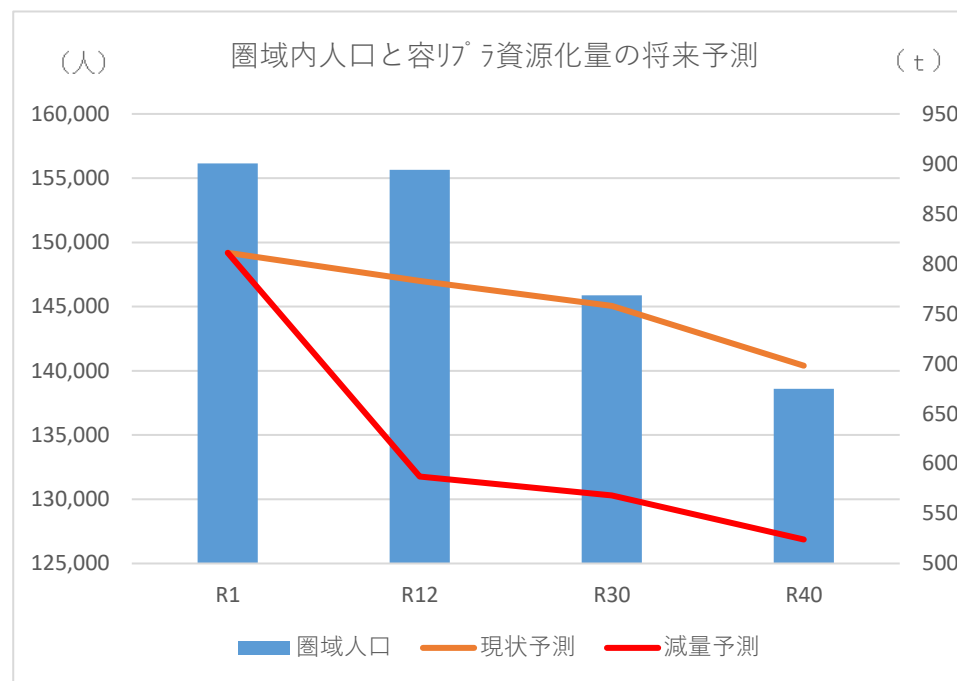
焼却してもカーボンニュートラルとなるバイオマスプラスチックが主流になるものと考えられる。

紙製容器包装が普及すれば、容器包装プラとして資源化する量は極めて少なくなるものと予想されるが当該グラフには反映していない。

★容器包装プラを公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に引き渡したとしても、再商品化の基準に適合しないものは、残渣として有効利用（約3割）されることとなる。その有効利用の手法は、熱回収やRPF化、工業用燃料として焼却される。

熱回収は、一般廃棄物処理施設と同様の処理である。

★焼却してもカーボンニュートラルとなるバイオマスプラスチックは、資源化に経費を使うよりも焼却することで発電効率を高め売電収入を得る方が公益性が高いと考える。



圏域内人口と個人住民税収入の将来予測

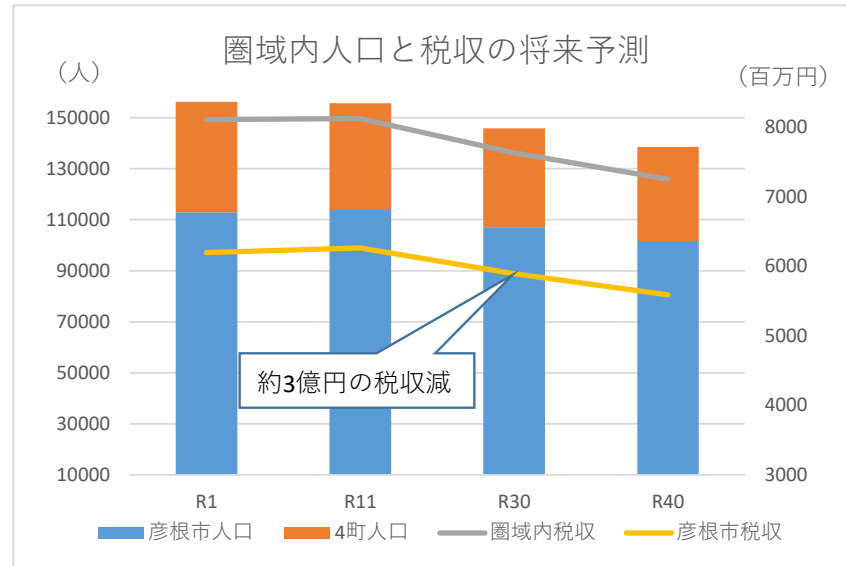
単位：人

	R1	R11	R30	R40
彦根市人口	112,928	113,838	107,113	101,615
4町人口	43,229	41,801	38,768	36,982
圏域人口	156,157	155,639	145,881	138,597

単位：百万円

	R1	R11	R30	R40
圏域内税収	8,106	8,121	7,628	7,249
彦根市税収	6,194	6,261	5,891	5,588

※税収は個人住民税とし、令和元年度実績より算出した一人当たり税収を人口将来予測に乗じて算出



彦根市介護保険事業費の将来予測

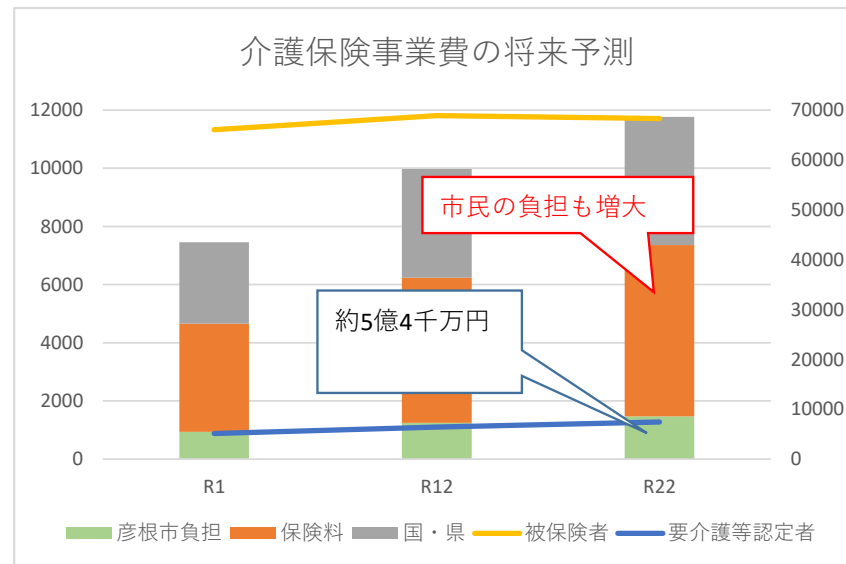
単位：百万円

	R1	R12	R22	
彦根市負担	932	1,247	1,471	12.5%
国・県	2,796	3,742	4,413	37.5%
保険料	3,728	4,989	5,885	50.0%
合計	7,455	9,979	11,769	100%

※介護保険事業費は、予防給付費および介護給付費のみ
 ※事業費の財源構成はR3時点の割合が変更されないものと仮定して算出

単位：人

	R1	R12	R22
被保険者	66,060	68,895	68,276
要介護等認定者	5,127	6,431	7,440



概算事業費比較 【彦根市負担】

単位：千円

項目		分別	焼却	差額	
施設整備費 (税抜き)	熱回収施設	13,646,250	13,687,500	-41,250	
	リサイクル施設	5,021,650	4,704,080	317,570	差額のうち彦根市負担額
	計	18,667,900	18,391,580	276,320	171,849
施設運営費 20年間合計 (税抜き)	熱回収施設	9,867,898	9,719,981	147,917	
	リサイクル施設	3,976,061	3,508,791	467,270	差額のうち彦根市負担額
	計	13,843,959	13,228,772	615,187	382,597
合計(税抜き)		32,511,859	31,620,352	891,507	

※上記の熱回収施設運営費には売電収入による運営費削減を見込んでいる。

概算事業費は平成28年度に実施したメーカーヒアリング結果を使用

①容器包装プラ処理施設を20年間使用する場合の1年間の差額【彦根市負担】（単位：千円）

施設整備費	8,592
施設運営費	19,130
収集経費増額	88,000
合計	115,722

※施設運営費には、ごみ減量（焼却量減）に伴う売電収入の減額は反映していない。

②容器包装プラ処理施設を30年間使用する場合の1年間の差額【彦根市負担】（単位：千円）

施設整備費	5,728
施設運営費	19,130
収集経費増額	88,000
合計	112,858

※施設運営費には、ごみ減量（焼却量減）に伴う売電収入の減額は反映していない。

※DBO方式による20年間の契約期間には大規模改修工事費用を含めず、20年を超えて契約を延長する際に大規模改修工事を含めるのが一般的だが、

②の施設運営費には大規模改修工事を含めず当初20年間契約と同額としている。

単位：千円

供用開始後	1年目	12年目	20年目	30年目
	R11	R22	R30	R40
市税増減額	67,000	-105,200	-303,145	-605,535
介護費増額	315,000	539,000		
差額	-248,000	-644,200		